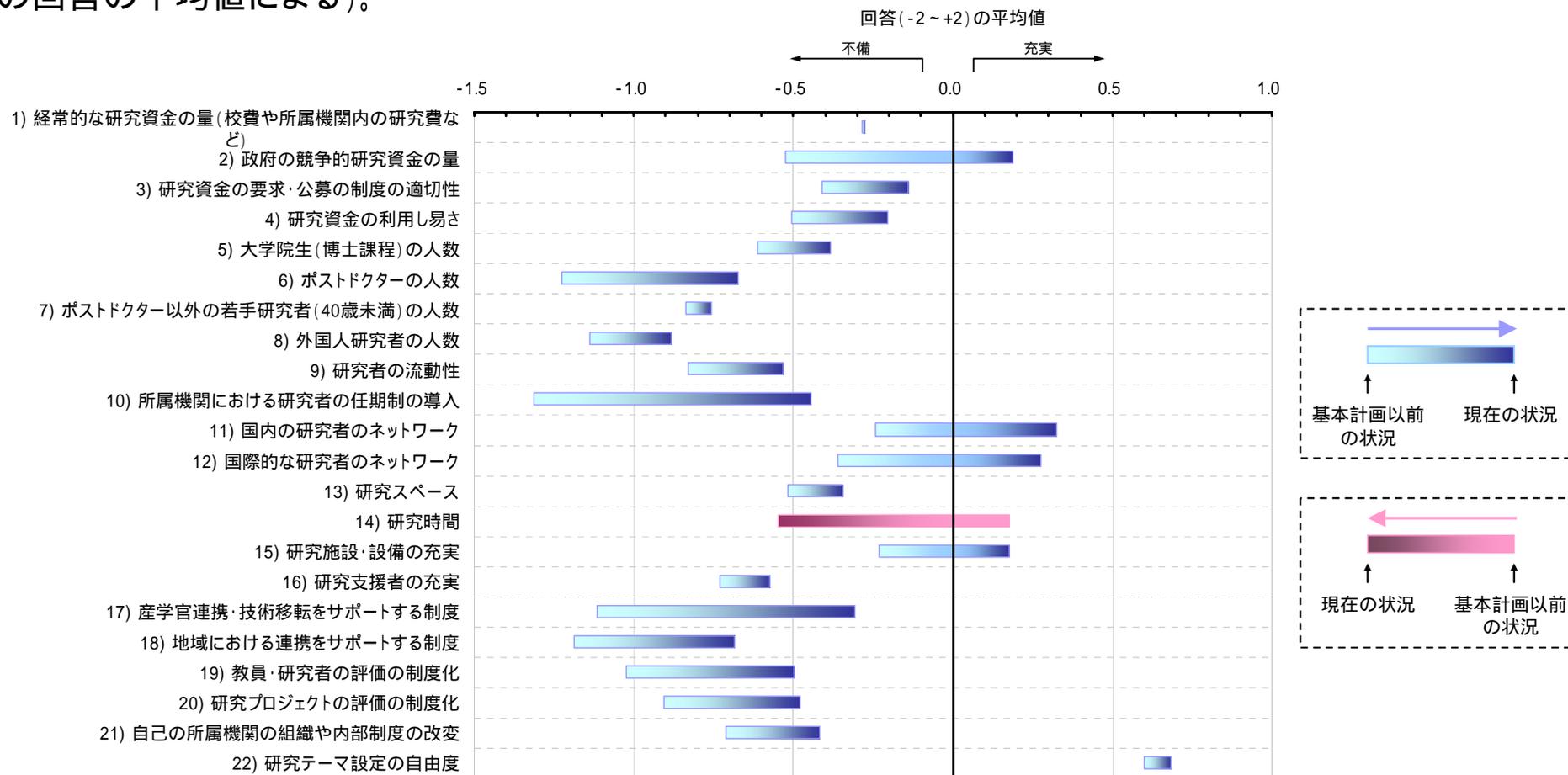


図8 . トップリサーチャーによる研究環境変化の認識： 基本計画以前(1991～1995年)と現在(2004年)の比較

研究環境は多岐にわたり改善されているが、「研究時間」は少なくなったとの回答を得ている(各時点の回答の平均値による)。



注：「トップリサーチャー」は、Science Citation Index (2001年版)の被引用度上位10%論文の著者を対象とした下記調査の回答者846名を指す。
データ：科学技術政策研究所「トップ・リサーチャーから見た科学技術政策の効果と研究開発水準に関する調査」(2004年10月～12月)